

Pool Robot Cleaner

プール自動掃除ロボット

SAI

製品取扱説明書





S A I を安全にご使用頂く為に注意事項：

この度はプール自動清掃ロボット S A I HJ3012 をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。S A I HJ3012 を今後ともより長く、楽しく良い状態でご使用頂くために、本取扱書をお読みの上、正しく安全にご使用をお願い申し上げます。

1. 本ロボットは地面に置く時や水面から取り出す際に、電源 OFF のご確認は必ず行ってください。電源が入ったままではロボットの損害・故障に至ることがあります。
2. ロボットの電源は漏電防止措置があるコンセントの使用をお勧めいたします。
ロボットが水中洗浄作業中、人員は水中には立入禁止です。
3. ロボットを水面に入れる時及び水面から取り出すときに、ケーブルを引っ張らないで、ハンドルをご利用下さい。ロボット稼働する前に、機械内部の空気を排出させ、水中に沈みながら、空気の排出反応がなくなるまで、電源は入れないでください。ロボットは完全に水底に沈んでから、電源入れて稼働開始してください。空気が入ると機械の清掃機能に影響があります。
4. ロボットは電源入れる前に、フィルター装置完了し、ケーブルは絡み状況ないこと及び稼働するときに引っ掛からないことを確認してから電源を入れて稼働します。ケーブルはトラブルが発生すると、ロボットの洗浄効果に影響があり、ロボットの損害発生恐れがあります。
5. ロボット毎回使用後、フィルターの洗浄・清掃を行ってください。
次回ロボット使用するとき汚れや残りがあると、ロボットの動きに影響を与えます。
6. ロボットは稼働しない時は、室内の通風がよい箇所に保管してください。ロボットに直接の日当たりを避けてください。
7. ロボットは掃除稼働の時に、電源のコントローラーは涼しいところに保管してください。電源のコントローラーにものを置かないようにしてください。電源のコントローラーは過熱になると、内部のパーツなどの損害恐れがあります。

8. 作業人員の危険性及びロボットの故障が起きないように、業者以外、機械本体及び電源コントローラーの分解・解体を避けてください。
9. 事故防止のために、パワーボックスを安全ロープにてプールの近くにある固定物に縛ってください。
10. 使用前に該当使用説明書を閲覧してください。
該当機械の使用条件範囲外の使用は禁止します。
11. 使用季節によって対応する掃除ロボットのフィルターネットがあり、フィルターネットの密度変換可能です。
12. プールの pH 値を中性に保ってください。
13. 水処理薬剤を該当ロボットに入れることは厳禁します。該当ロボット機械に投薬すると、機械の故障・損害が起これば、弊社の保証責任以外のことになるので、ご注意ください。

注意事項及び図面説明：

1. ロボットをプールに入れるときに、ロボットの底面をプールの壁に向けて、ハンドルを握ってロボットを水中に入れます。

ロボット本体内の空気をゆっくり外に排出させ、空気が完全に排出後、ゆっくり水底まで沈んでから稼働させます。空気の排出が完全ではない場合、ロボットの機能に影響があります。



2. 作業完了後、ロボットを水面から取り出すときに、必ず機械本体のハンドルを握って取り出してください。危険性があるため、電源ケーブルを引っ張らないでください。



危険！！
電源ケーブルを引っ張らないでください。

追加：ロボットを水面から取り出す前に、先にフィルターを外し、水面から取り出すと重量負担が減ります。

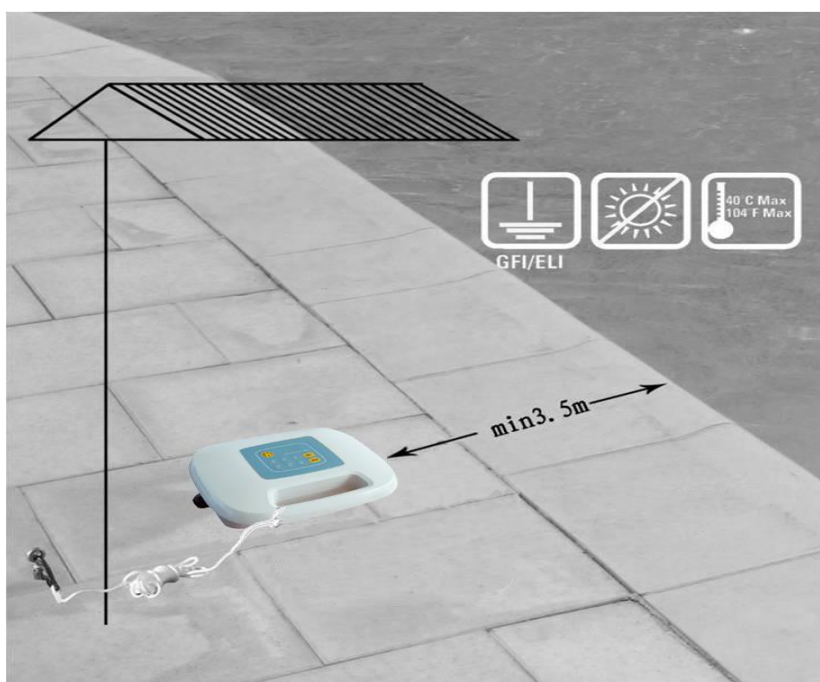
1、製品案内

S A I HJ3012 は新型高効率性のプール自動掃除機械です。電機の管理プログラムにより、無人管理の状態と共にプールのフローリング底部、四面壁に対して清掃洗浄を行い、同時にフィルターの機能持ち、プールの水を濾過し続けます。

本清掃ロボットは低電圧 24V に下げて電力を供給しているため、安全性が高く安心して使えるロボットです。使用前に必ず該当取扱書をお読みになり、正しく楽しくロボットを使用してください。

2、安全：

電源ボックスは必ず適当な場所に置き、ロボットの稼働能力及び運行可能範囲内に置いてください。プールの全てのコーナーにケーブルが届く位置、また、電源ボックスの設置場所はプールの端から最低でも 3.5メートル以上の距離を保つ様に配置してください。



3、本体規格：

3.1 電源部

入力電圧 100V～240V

出力電圧 24VDC/通常

電源周波数 50Hz/60Hz

消費電力 200W

3.2 リモコンの周波数帯 315MHz

3.3 清掃作動時間 1時間/2時間/3時間 モード

3.4 フィルターの吸排水能力 20m³/時間

3.5 フィルターの濾過能力 200mesh

3.6 走行速度 12.5m³/分

3.7 防水能力 本体 IPX8、電源ボックス IPX5

3.8 運行水深 2.0m

3.9 リーモード距離範囲 > 20m

3.10 作業環境温度 0℃～+35℃

4、操作説明

4.1 電源ボックスアイコン説明

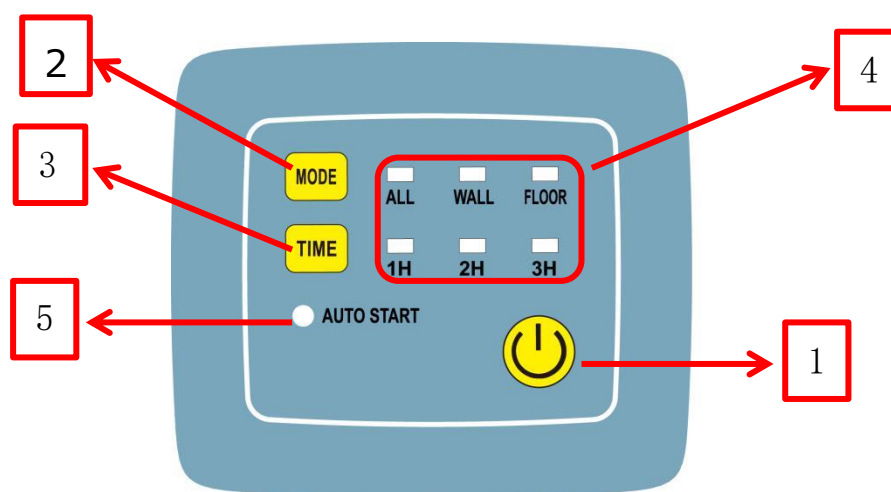
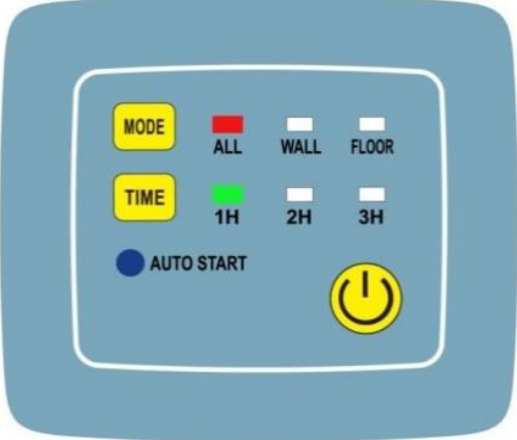
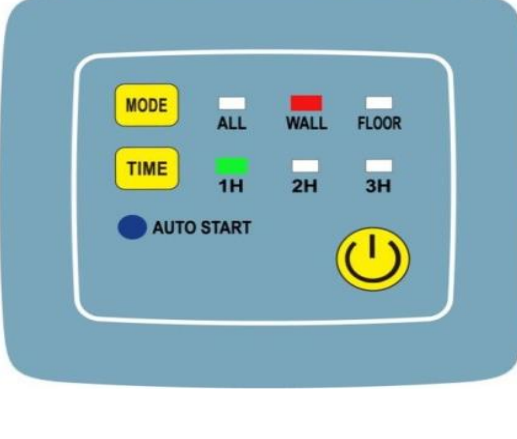
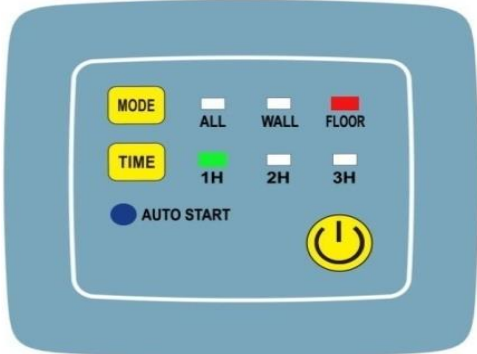
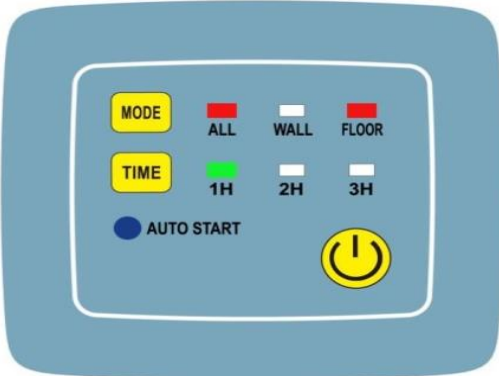
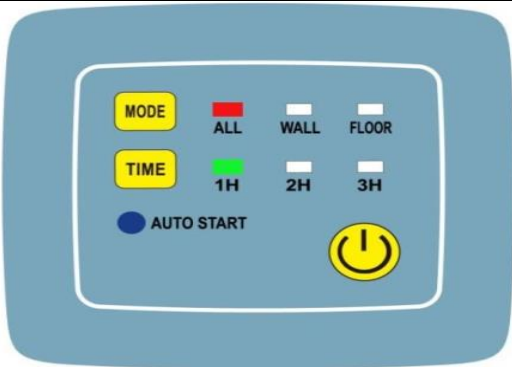
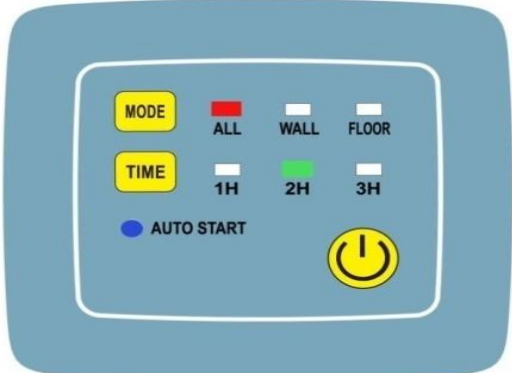
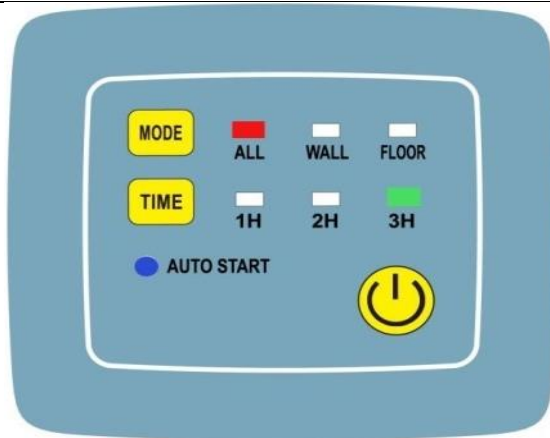


表 4-1 アイコン及び指示灯点滅説明

番号	記号	内容	機能説明
1	ON/ OFF	電源オン/運行中/電源オフ	<p>該当アイコン 1 回を押すと、電源起動、指示灯点灯、水中のロボットの電源に繋がります。</p> <p>該当アイコン連続 2 回を押すと、指示モードにて自動運行開始。</p> <p>該当アイコン連続 3 回を押すと、指示灯が点滅になり、水中のロボットは電源オフになり、稼働停止。</p>
2	MODE モード アイコン	 <p>The image shows a control panel with a blue background. It features a yellow 'MODE' button, a yellow 'TIME' button, a blue 'AUTO START' button, and a yellow power button. There are three indicator lights: 'ALL' (red), 'WALL' (white), and 'FLOOR' (white). The 'ALL' indicator is lit, while 'WALL' and 'FLOOR' are not. Below the 'TIME' button are three indicators for '1H', '2H', and '3H', all of which are not lit.</p>	<p>ALL はプール全般全て掃除モード（底部 1 回及び壁一回）</p>
		 <p>The image shows the same control panel as above. In this state, the 'WALL' indicator (red) is lit, while 'ALL' and 'FLOOR' are not. The 'TIME' indicators (1H, 2H, 3H) remain unlit.</p>	<p>WALL は壁掃除モード。</p>

		 <p>The control panel shows the 'MODE' section with 'FLOOR' selected (red indicator). The 'TIME' section has '1H', '2H', and '3H' indicators. 'ALL' and 'WALL' are unselected (white indicators). 'AUTO START' is a blue dot, and the power button is yellow.</p>	<p>FLOOR はプールの底部 掃除モード</p>
		 <p>The control panel shows 'ALL' and 'FLOOR' selected (red indicators). 'WALL' is unselected (white indicator). 'TIME' section has '1H', '2H', and '3H' indicators. 'AUTO START' is a blue dot, and the power button is yellow.</p>	<p>ALL+FLOOR はプール 底部 3 回及び壁 1 回の 掃除モード</p>
3	TIME	 <p>The control panel shows 'ALL' selected (red indicator). 'WALL' and 'FLOOR' are unselected (white indicators). 'TIME' section has '1H' selected (green indicator), '2H', and '3H' unselected (white indicators). 'AUTO START' is a blue dot, and the power button is yellow.</p>	<p>1H は 1 時間掃除モー ド、点滅開始 = 計時開 始</p>
		 <p>The control panel shows 'ALL' selected (red indicator). 'WALL' and 'FLOOR' are unselected (white indicators). 'TIME' section has '2H' selected (green indicator), '1H', and '3H' unselected (white indicators). 'AUTO START' is a blue dot, and the power button is yellow.</p>	<p>2H は 2 時間掃除モー ド、点滅開始 = 計時開 始</p>



3H は 3 時間掃除モード、点滅開始 = 計時開始

使用者が選択した運行モード及び機械の状態				
4	指示灯	運行 状況 指示	2 個か 3 個指示灯常時点灯	停止状態
			1H 徐行点滅	1 時間運行モード
			2H 徐行点滅	2 時間運行モード
			3H 徐行点滅	3 時間運行モード
			ALL 点灯	プール全般掃除運行モード
			WALL 点灯	壁掃除モード
			FLOOR 点灯	プール底部掃除モード
			ALL+ FLOOR 点灯	プール底部 3 回及び壁 1 回掃除モード
			ALL>>WALL>>FLOOR	手動操作指示：前進
			FLOOR>>WALL>>ALL	手動操作指示：後ろへ
			3H>>2H>>1H	手動操作指示：左へ
			1H>>2H>>3H	手動操作指示：右へ
			全ての指示灯は徐々に点滅	自動運行モード停止
			コード・エラー内容	意味
エラー メッセージ	全ての指示灯は点滅が激しくなり、ブザーが鳴った場合	電源ボックスのオーバー	使用停止、アフターサービスに連絡。	

			WALL+2H 同時にブザーも鳴った場合	モーター 1 過負荷	ベルト検査、異物確認
			FLOOR+3H 同時にブザーも鳴った場合	モーター 2 過負荷	ベルト検査異物確認
			WALL+FLOOR+2H+3H 同時にブザーも鳴った場合	ロボットは水面に出て、自動運行に戻れない。	ロボット内の空気を排出してから再度水中に入れてから電源オンにする。
5	予約モード	予約内容	点滅：予約なし。		
			光り：予約タイマー設定したが、運行時間待ち。		
			閃光：予約タイマーの時間になって、運行開始。		

4.2 リモコンコントロール 電池LRV08 (12V)

番号	符号	符号の意味	詳細説明
1			電波受信メーター
2		リモコンの指示ランプ	リモコンオン、オフの状態を示す。
3	▲	起動ボタン	押すと、設定した清掃モードで自動運行を開始する。
4	➤	右方向ボタン	押すと、右へ曲がりる。
5	■	停止ボタン	押すと、停止する。
6	▲	進むボタン	押すと、前へ進む。
7	◀	左方向ボタン	押すと、左へ曲がる。
8	▼	戻るボタン	押すと、バックする。

進行方向



注意：“▶ 右方向ボタン”と“◀ 左方向ボタン”は押し続けます、放すと停止します。

4.4 フィルターボックスのクリーニング

4.4.1 フィルターボックスの取出し：ロボットをプールの端に置き、ロックを開けて（図 4-4）、フィルターボックスを取り出します（図 4-5）。中のフィルターを取出して（図 4-6）、フィルター板を外す（図 4-7）。

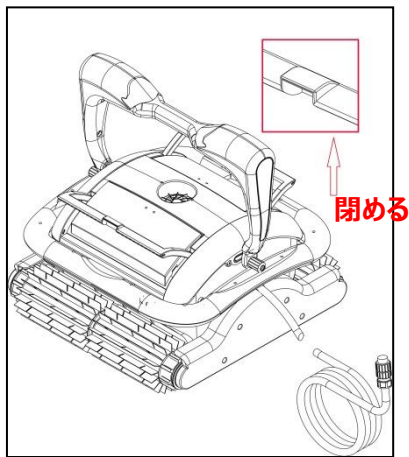


図 4-4

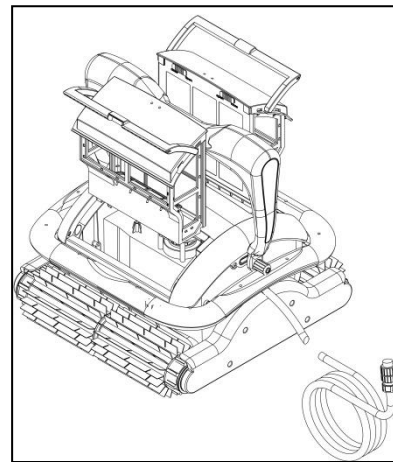


図 4-5

4.4.2 フィルターボックスの洗浄。

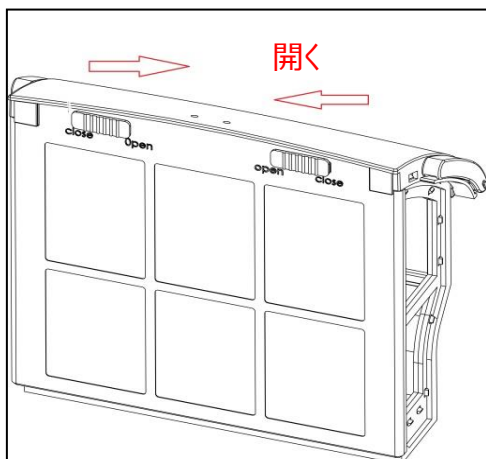


図 4-6

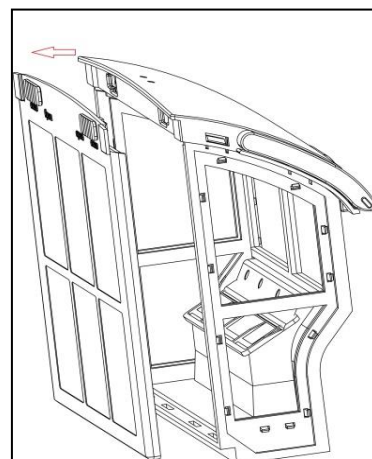


図 4-7

4.4.3 フィルターボックス水洗、フィルターネットの汚れは水にて洗浄。

(図 4-8 ; 図 4-9)

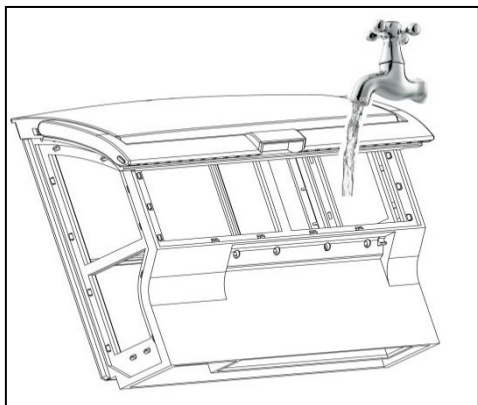


図 4-8

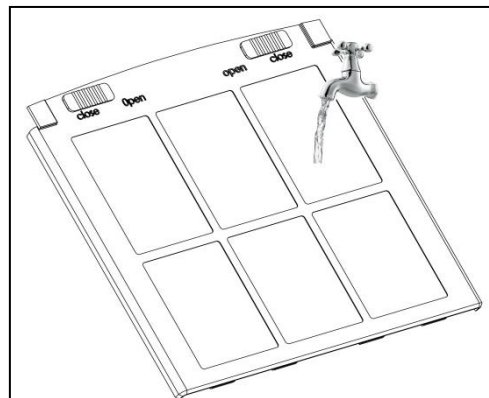


図 4-9

4.4.4 フィルターボックスを底部位置に差し込んで取り付けてから、上のロック箇所 に合わせて閉める。

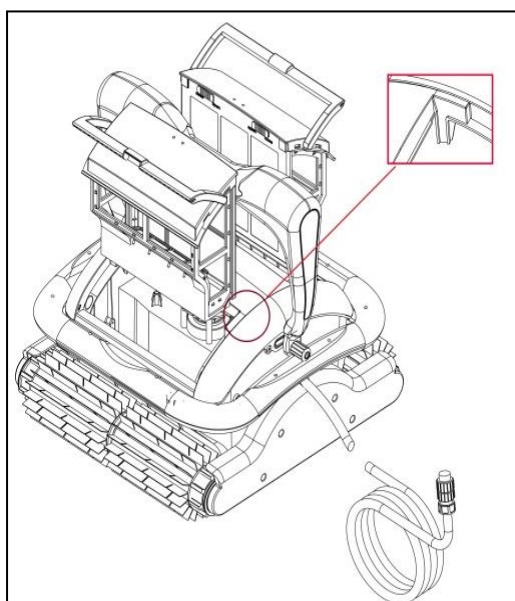


図 4-11

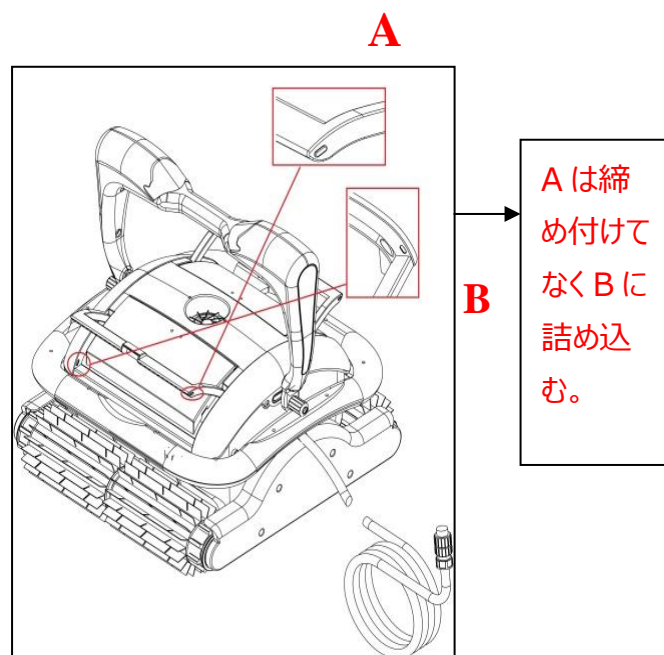


図 4-12

4.4.5 フィルターボックスの取付け

濾過フィルターを元のフィルターボックスに戻す(図 4-11) 。本体のカバーにレールの構造があり、フィルターボックスをレールの向きに従って取り付けてからカバーを締めれば完了 (図 4-12)

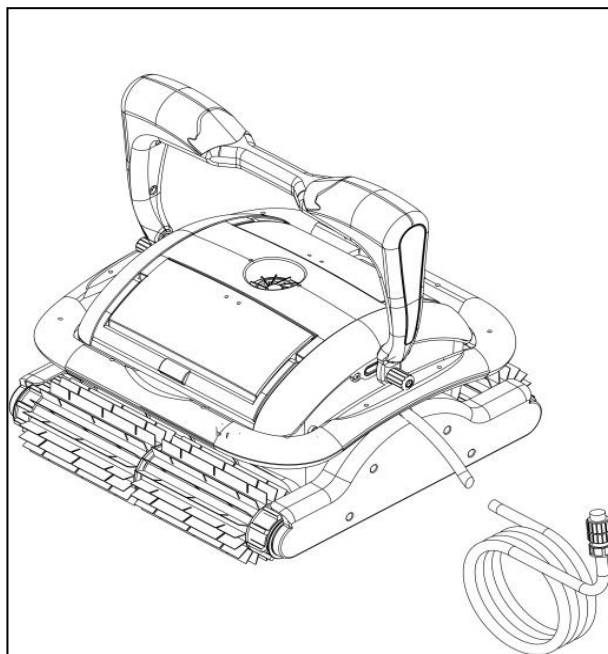
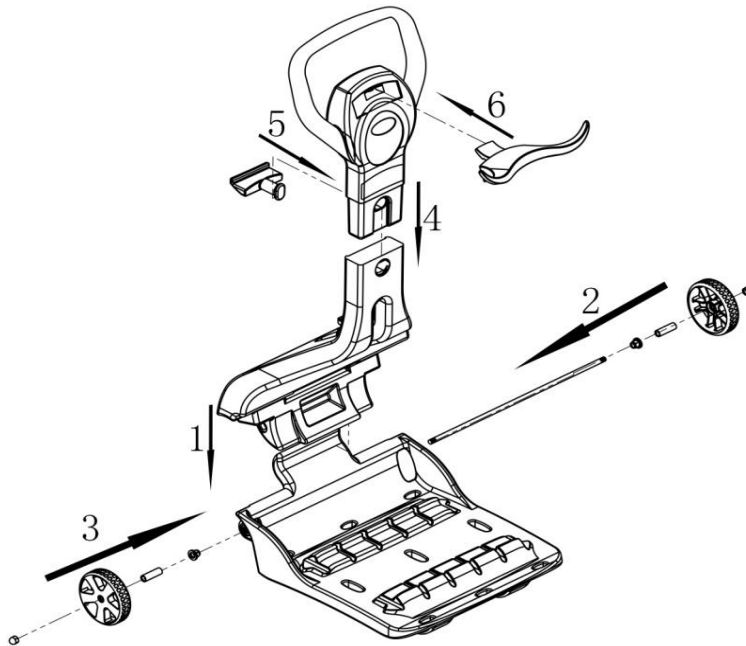


図 4-13

注意事項： 本体カバーにレールがあり、レールの進み後方に従って、取り付ければ完了 (図 4-13)

五、キャリア（オプション）

5.1 キャリーの構成図



5.2 キャリーの取付け

5.2.1, キャリーのすべての部品を袋から取り出す。



5.2.2, 車輪の繋がり用車軸を底部荷台の平皿に差し込む。



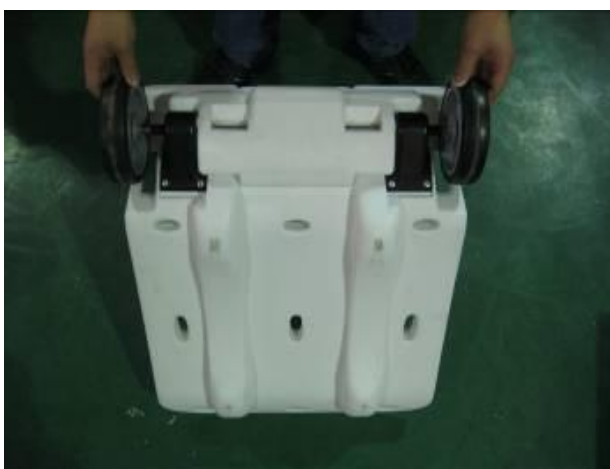
5.2.3, 荷台の車軸及び車輪の向きを上にして、手で押しながら、車軸を差し込む。



5.2.4, 車軸の両側に保護カバー及びアクスルカバーを取り付ける。



5.2.5, 車輪を輪軸に差し込む。



5.2.6, 輪軸の上にロックナットを締め付ける。



5.2.7, 両側の輪軸を締め付けてからナットを緩める。(車輪の動きをよくする。)



5.2.8, キャディのハンドルを中心部に差し込んで一体にする。



5.2.9, 写真の通りで電源ボックスのホルダーを取り付ける。



5.2.10, 写真の通りケーブルのホルダーを取り付ける。



六、浮きフォームの取り付け（備用）

機械が壁に登りにくい現状発生して水面位置まで掃除できなくなった場合や、マニュアル説明の通りの通常の稼働モードで壁に登らない場合は下記の浮きフォームを使用します。

一、ネジを外して、カバーを開けて、カバーの裏に浮きフォーム 2 個を取り付け、対角線位置に取り付けてください。浮きフォームの裏に粘着剤付きテープがあるため、粘着防止紙を外せば、カバーに貼り付けられます。**(図 6-1)** の手順で取り付けてください。もし、壁の水面位置に登れるようになったら、浮きフォームを増やさないでください。

二、方法一にて浮きフォームを取り付けても水面位置に登れない場合、再度浮きフォーム 2 個を加えて、四つにする。**(図 6-2)**

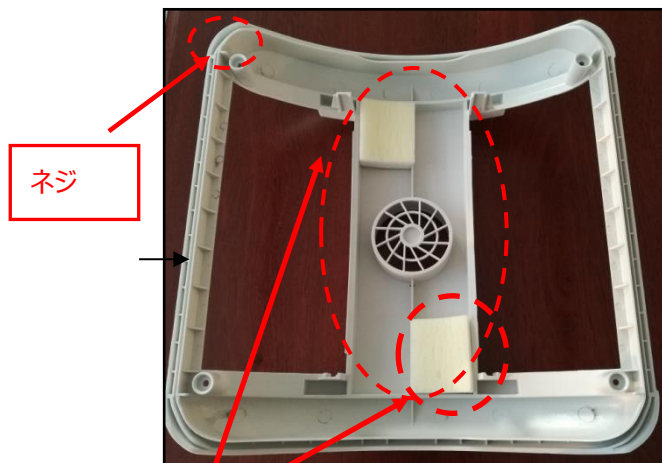


図 6-1



図 6-2

浮きフォームは対角位置に取り付け。各浮きフォームの重量は 50g となります。

浮きフォームの付け方及び手順（浮きフォームは両面テープで、AとB面があります。）

- (1) 浮きフォームの粘着防止紙を外す（B面）（図 6-3）。
- (2) B面を正確に整えて、方向位置を調整してから貼り付ける。（図 6-4）
- (3) A面紙を外す。（図 6-5）

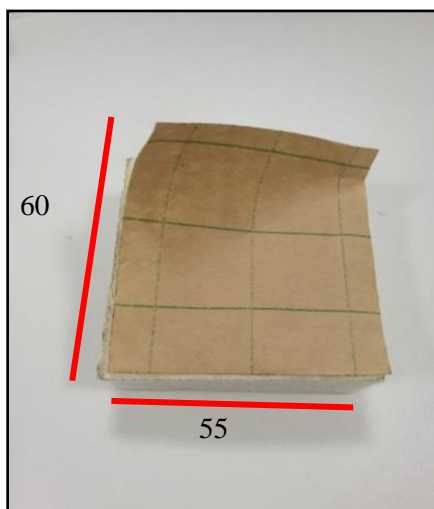


図 6-3



図 6-4



図 6-5

赤い線は短い辺の 55 側となる。

注意：

1、写真の内容を理解していただくと、カバーを外せずに、触感によって手で浮きフォームを貼り付けられる。

2、浮きフォームの裏に粘着剤があり、カバーの四ヶ所に貼り付けたら、しっかり貼り付いていることを確認してから、24 時間後、プールに入れる。

七、包装明細：

番号	部品名称	規格	数量 (個)	備考
1	機械本体	HJ3012	1	パッケージ内
2	電源ボックス	HJ3012	1	パッケージ内
3	取扱説明書、合格証		1	
4	リモコン (オプション)		1	
5	リモコン電池 (オプション)		1	ビニル袋内
6	浮きフォーム		4	ビニル袋内
キャリア	ハンドル		1	パッケージ内
	連結パーツ		1	パッケージ内
	平皿		1	パッケージ内
	電源ボックスホルダー		1	パッケージ内
	ケーブルホルダー		1	パッケージ内
	車輪ナット		1	パッケージ内
	車輪		2	パッケージ内
	ロックナット	M10	2	ビニル袋内
	アクスルカバー		2	ビニル袋内
	保護カーバー		2	ビニル袋内